

## 令和4(2022)年度 高梁市 事務事業に伴う温室効果ガス排出状況

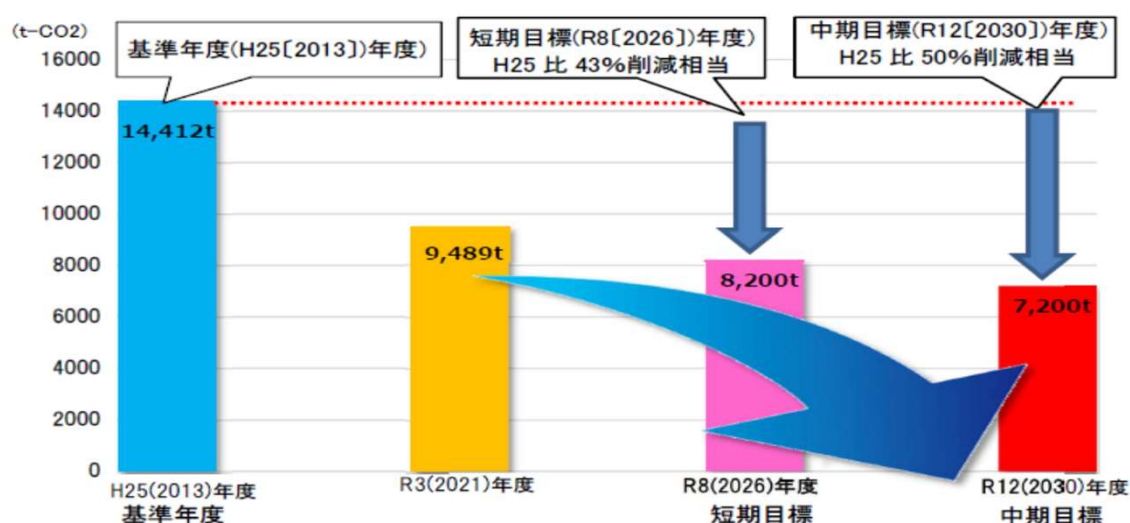
地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、市町村は自らの事務及び事業に関して排出される温室効果ガスの削減等の計画を策定することが義務付けられています。

本市では、平成28(2016)年度に「高梁市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)」を策定し、令和3(2021)年度までの取り組みとして、行政事務・事業を起源とする温室効果ガスの排出削減を図ってきましたが、国の「地球温暖化対策計画」を踏まえ、より実効性の高い地球温暖化対策を推進していくため、令和4(2022)年度新たに「第2期高梁市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)」(以下「第2期実行計画」という。)を策定しました。

この度、令和4(2022)年度の結果を取りまとめましたので、地球温暖化対策の推進に関する法律第21条第15項の規定に基づき、排出量及び取組状況についてお知らせします。

### ◆第2期実行計画の内容

計 画 期 間	令和4(2022)年度から令和8(2026)年度の5年間
基 準 年 度	平成25(2013)年度(政府計画に準拠)
対 象 温 室 効 果 ガ ス	二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )
対 象 施 設	市が管理する事務及び事業(指定管理施設含む)
削 減 目 標	基準年度の排出量(14,412t-CO <sub>2</sub> )に対して43%以上削減



### ◆令和4(2022)年度の温室効果ガス排出状況

#### (1) 削減に向けた取り組み状況

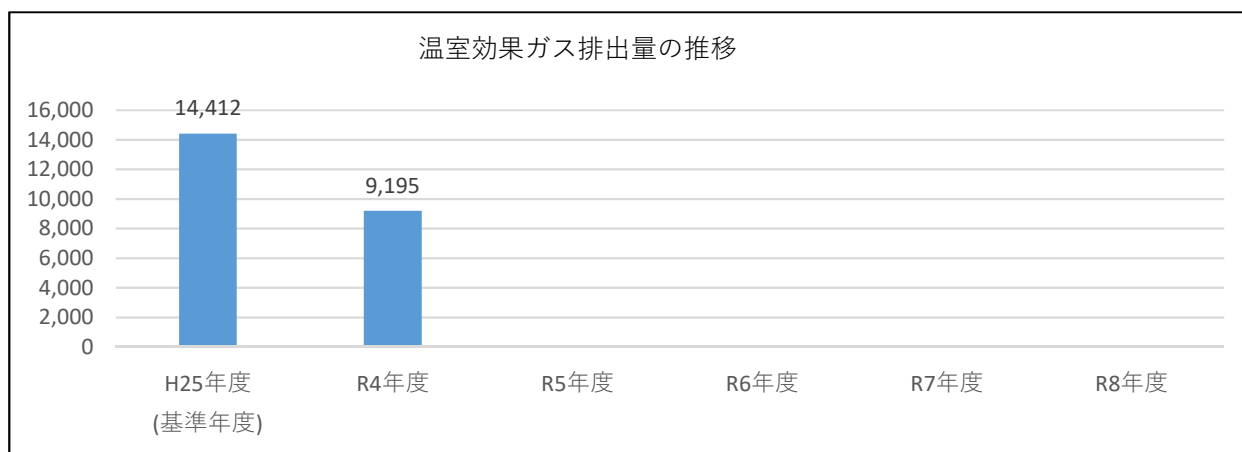
- ・令和4(2022)年度の本市の実績は、基準年度(平成25(2013)年度)の14,412t-CO<sub>2</sub>から36.2%減少し、9,195t-CO<sub>2</sub>でした。(※参考:前年度比3.1%減)
- ・主な削減の要因としては、施設の統廃合や公用車の削減等が考えられます。また、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、対面での会議や協議等が減少したことにより、公用車による出張等が減少したことも要因の一つとして考えられます。
- ・さらに、各施設における照明不要時(昼食時間など)の消灯、冷暖房使用時間や温度設定の調節等の省エネ・節電活動の取組みも減少の要因の一つとして考えられます。

## (2) 活動量の推移

項目	H25年度 (2013) (基準年度)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	基準年対比	
							増減量	増減率
燃料	ガソリン (ℓ)	166,951	120,301				-46,650	-27.9%
	灯油 (ℓ)	306,957	257,375				-49,582	-16.2%
	軽油 (ℓ)	49,840	36,080				-13,760	-27.6%
	A重油 (ℓ)	22,032	7,833				-14,199	-64.4%
	LPG (ℓ)	24,968	21,733				-3,235	-13.0%
電気 (kwh)	18,024,458	15,181,404					-2,843,054	-15.8%

## (3) 温室効果ガス排出量の推移

年度	H25年度 (基準年度) (2013)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
排出量 (t-CO2)	14,412	9,195				
基準年増減量 (t-CO2)	-	-5,217				
基準年対比 (%)	-	-36.2%				



## (4) 項目別温室効果ガス排出量の推移

(単位: t-CO2)

項目	H25年度 (2013) (基準年度)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	基準年対比	
							増減量	増減率
燃料	ガソリン	388	279				-108	-27.9%
	灯油	763	641				-123	-16.1%
	軽油	129	93				-36	-27.6%
	A重油	60	21				-38	-64.5%
	LPG	149	130				-19	-13.0%
電気	12,924	8,031					-4,893	-37.9%
合計	14,412	9,195					-5,217	-36.2%